

**北条時宗** 武将。鎌倉幕府8代執権。蒙古襲来という国難を強硬政策で撃退，得宗専制・朝廷介入を果たして早世。

ほうじょうときむね

・ ・ ・ ・ ・ 1251 = 北条重時女を母に，\_北条時頼の子に生まれる。

\_幼少より時頼の正嫡として執権となるべく育てられ，

**北条時頼出家**1256 = 5歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1257 = 6歳：將軍宗尊親王の手で元服，相模太郎時宗と称す。

**立正安国論**・1260 = **9歳**：小侍所別当，

・ ・ ・ ・ ・ 1261 = 10歳：安達義景女(泰盛養女)の堀内殿と結婚，左馬権頭従五位下，

**北条時頼没**・1263 = 12歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1264 = 13歳：連署，

・ ・ ・ ・ ・ 1265 = 14歳：従五位上相模守。

**北条時宗執権**1268 = 17歳：\*高麗使藩阜の来訪ののち，執権に就任した。

**蒙古対馬来航**1269 = **18歳**：

**日蓮佐渡配流**1271 = 20歳：\_モンゴル使趙良弼が筑前今津に至った際，鎮西に所領をもつ御家人に鎮西下向を命じ，

二月騒動・ ・ 1272 = 21歳：\_一族の名越時輔，教時らを誅した(二月騒動)。

**元寇文永の役**1274 = 23歳：\*元軍が来寇(文永の役)したのを退け，

元使斬殺・ ・ 1275 = 24歳：\_元使杜世忠を竜ノ口に斬るなど一貫して対モンゴル強硬政策をとり，高麗進攻計画，防塁築造，非御家人の軍役動員などをすすめる，幕府を事実上の全国政権たらしめてゆくと同時に，舅の安達泰盛，得宗被官(御内人)の平頼綱らによる寄合を政治の中心におき，西国の守護職や重要所領を北条一門で独占する，いわゆる得宗専制を強化していった。

元が交易許可1278 = **27歳**：

**無学祖元来日**1279 = 28歳：\_若くして蘭溪道隆，大休正念に深く師事し，その招きで無学祖元が来朝し建長寺の住持となる。

**元寇弘安の役**1281 = 30歳：\*再度の元軍の来寇を退け，幕府の権威も大いに強化された。

**日蓮没**・ ・ ・ 1282 = 31歳：\_円覚寺を建て祖元を開山とし，さらに日蓮や一遍らとの交渉もあったが，

**北条時宗没**・1284 = 33歳：\_没した。